

血管硬化状態

あなたの
血管硬化状態
良好

あなたの血管年齢	29 歳		
脈派伝播検査	AP法		
中性脂肪	102.0	mg/dl	基準値 40 - 149
LDLコレステロール	125.0	mg/dl	基準値 70 - 139
HDLコレステロール	48.0	mg/dl	基準値(男性) 40 - 77
ホモシステイン	5.9	nmol/ml	基準値(男性) 8.2 - 16.9
コルチゾール精密測定	16.6	μg/dl	基準値 5.3 - 24.5
高感度CRP	1,000.0	μg/dl	基準値 4 - 90



ドクターズアドバイス



血管年齢については現在心配ありません。LDL値は基準値内です。HDL値は基準値内です。ホモシステイン値が低値です。コルチゾール値は基準値内です。高感度CRP値が高値です。慢性的な炎症性疾患や動脈硬化の疑いがあります。医師と御相談ください。中性脂肪値は基準値内です。

【解説】

脈派伝播検査：脈の伝わる(脈波伝播)速度を測定することにより、血管の弾力性(軟らかさ)を検査します。血管が硬いと脈波伝播速度が速くなり、動脈硬化が進んでいる可能性があります。

中性脂肪：中性脂肪は主に食物から摂取される脂です。動脈硬化症や高脂血症などの生活習慣病との関連が深い検査指標です。

LDLコレステロール：コレステロールは脂の1種で体に必要な物質ですが、LDLコレステロールは悪玉コレステロールとも呼ばれます。この値が高いと動脈硬化の原因になります。

HDLコレステロール：HDLコレステロールは善玉コレステロールとも呼ばれています。血管の内側の壁についた悪玉コレステロールを取り除き、動脈硬化を防ぎます。

ホモシステイン：ホモシステインが高くなると血管へコレステロールが付着しやすくなり、動脈硬化の危険性を高めます。また、心筋梗塞の危険性も高めると言われています。

コルチゾール精密測定：コルチゾールはストレスホルモンとも呼ばれます。ストレスを受けるとコルチゾールの値が上昇します。

高感度CRP：高感度CRPは炎症が起こっているとその値が上昇する検査項目です。最近では動脈硬化症との関連性があるのではないかと考えられています。